

影響を受けている 地域と国々

アフリカ

エルニーニョは、東部・南部アフリカ全土で干ばつを悪化させました。
この地域ではすでに、2014-2015年に発生した一連の気候による影響が、
農作物を荒廃させ、水源を枯渇させ、
多くの子どもたちは命をつなぐ食糧支援に頼らざるを得ない状況に
追い込まれていました。

1



アンゴラ



140万人
食糧危機にある人々



75万6,000人
食糧危機にある子どもたち



9万6,000人
重度の急性栄養不良に
陥っている子どもたち

子ども75万6,000人を含む140万人の
人々が干ばつの影響を受けており、主に
降雨量の少ない半乾燥気候である南部
地域で暮らしている。影響を受けている
子どもたちのうち、約9万6,000人が重度
の急性栄養不良に陥っている。2015年
12月に起こった黄熱病の大規模な蔓延
によって、2016年6月17日までに345人が
命を落としている。

3



レソト



53万人
食糧危機にある人々



31万人
食糧危機にある子どもたち

子ども31万人を含む53万人以上が食糧
危機に陥っており、子どもの12.3%が慢性
的な栄養不良。
ここ数カ月、下痢のケースが増加。

4



マラウイ



280万人
食糧危機にある人々



150万人
食糧危機にある子どもたち

過去10年間で最悪の食糧危機に直面し
ている。現在、子ども150万人を含む280
万人が食糧不足に陥っている。
5歳未満児のおよそ半数が、栄養が足り
ずに年齢相応に背が伸びていない状態
である「発育阻害」の兆候を示しており、
重度の急性栄養不良につながる恐れが
ある。

2



スワジランド



30万人
影響を受けている人々

30万人以上(人口の4分の1近く)が、干
ばつの影響を受けている。

6

**エチオピア****1,020万人**

食糧支援が必要な人々

**600万人**

食糧支援が必要な子どもたち

過去50年で最悪の干ばつに直面しており、子ども600万人を含む推定1,020万人が、2016年中に食糧支援が必要になる見込み。

9

**ソマリア****38万5,000人**

食糧危機にある人々

**10万人**急性栄養不良に陥っている
5歳未満の子どもたち

38万5,000人が緊急の食糧危機に直面しており、もし緊急支援が行われなければさらに130万人が同様の危機に直面する恐れがある。10万人近くの5歳未満児が急性栄養不良に陥っており、一刻も早い治療を必要としている。

コミュニティの人々は、唯一利用できる未整備の水源を、家畜と共有して使わざるを得ない状況にあることから、ブントランドとソマリランドの保健センターでは、急性の水様性下痢と診断されるケースが増加している。

大雨によって鉄砲水が発生した地域もあり、水を媒介する感染症や、さらなる避難のリスクを増悪させている。

7

**マダガスカル****110万人**

食糧危機にある人々

国内南部で発生している深刻な干ばつにより、その地域人口の80%に相当する110万人が食糧危機に陥っている。

10

**モザンビーク****150万人**

食糧危機にある人々

**19万人**栄養不良に陥る可能性がある
子どもたち

過去30年で最悪の干ばつに直面している。計150万人が食糧危機および栄養危機に直面しており、19万人以上の子どもたちが今後12カ月の間に栄養不良に陥る可能性がある。

8

**ジンバブエ****280万人**

食糧危機にある人々

**150万人**

食糧危機にある子どもたち

子ども150万人を含む280万人が、食糧および栄養の危機に直面している。

5

**エリトリア**

エルニーニョの影響が、特に低地で暮らす5歳未満の子どもたちの間が高いレベルの栄養不良に陥る要因となっている。急性栄養不良は、国内における主な潜在的死因の一つである。



11



朝鮮民主主義 人民共和国

2015年の深刻な干ばつで食糧生産が途絶え、水不足も発生。ユニセフは、5歳未満の子どもたちの間に深刻な栄養不良が増大していることを注視している。被害を受けている地域では、5歳未満児の下痢性疾患が72%増えた。

アジア・太平洋地域

エルニーニョが一因となっている深刻な干ばつや猛暑は、アジア・太平洋地域の何百万もの子どもたちに影響を与えました。もしラニーニャ現象が起きれば、この地域のいくつかの国は洪水の大きなリスクに直面するでしょう。

エルニーニョは太平洋諸国の国々の脆弱性を際立たせ、そこに暮らす人々が気候変動の最前線にいることを突きつけました。勢力が大きいサイクロンが到来し、複数の太平洋諸国に、深刻な水不足を招きました。エルニーニョは2016年1月から弱まってきていますが、その影響はまだ見受けられます。ラニーニャは、この地域の国々に台風やサイクロンのリスクを増大させる懸念があります。水不足や食糧危機を招き、環礁島では供給される淡水に海水が混入してしまう可能性もあります。

12



ベトナム



200万人

影響を受けている人々

干ばつが発生しており、200万人が被害を受け、その4分の1以上が子どもたち。メコンデルタ地域では、干ばつと地下水の減少が、この90年で最も大規模な海水の侵入を引き起こし、農耕地や水供給に深刻な被害をもたらした。水へのアクセスが困難になったことで、下痢、赤痢、皮膚疾患、手足口病などが増加した。

13



インドネシア



120万人

支援を必要とする人々

乾燥状態によって例年以上の山火事が起こり、その結果、特に子どもたちを脅かす呼吸器性疾患の発生につながっている。米の価格の高騰が、最も厳しい状況にある人々に重い負担となっている。推計120万人が、支援を必要としている。

14



カンボジア



250万人

影響を受けている人々

過去50年で最悪とされる干ばつによって、水不足に直面している。250万人の人々が、深刻な被害を受けている。

アディちゃん(13歳)と弟ワイサケくん(4歳)。
サイクロン・ウィンストンによって破壊された
自宅の前で。
(フィジー共和国、2016年2月25日撮影)

EL NIÑO'S IMPACT ON CHILDREN
IT'S NOT OVER

15



フィジー



40%
影響を受けている人口の割合

2016年2月に上陸したサイクロン・ウィンストンが、人口の40%に被害をもたらした。500の学校や幼稚園が損傷あるいは破壊され、電機や水の供給や保健など不可欠なサービスが途絶えた。その結果、呼吸器系疾患や生物が媒介する病気、水に起因する病気などが拡大。そのわずか6週間後、もう一つのサイクロンが到来し、洪水を引き起こした。農作物は、新たに蒔かれた種や苗を含め再び破壊され、食料としても収入源としても農業に頼っている多くの家庭の状況を、さらに深刻にした。

16



パプアニューギニア



18万人
食糧危機にある人々

パプアニューギニアは、干ばつと冷害の両方の影響を受け、150万人が食料危機に陥った。2016年2月から3月にかけては、複数の地域で豪雨による洪水が起こった。18万人以上が、現在も緊急の食糧支援を必要としている。最も被害の甚大な地域での水不足によって、学校は半日だけになり、保健施設も縮小もしくは閉鎖を余儀なくされた。



ラテンアメリカ カリブ海諸国

中米の国々では、過去数十年で最もひどい干ばつがおきています。およそ350万人が影響を受け、うち200万人以上が食糧危機にあり、人道支援を必要としています。もしラニーニャ現象が起きれば、この地域の国々は、より活発なハリケーンシーズンという潜在的脅威にも晒されます。

南米のエクアドル、チリ、パラグアイ、ペルーにおいて、低地では洪水、山岳地帯では干ばつが発生しています。

17



ホンジュラス



130万人

影響を受けている人々

約130万人が干ばつによる深刻な影響を受けており、うち25万2,000人以上が緊急の人道支援を必要としている。

20



ハイチ



150万人

影響を受けている人々



13万人

急性栄養不良に陥っている子どもたち

干ばつにより大規模な農作物被害が出ている。推定150万人が深刻な食糧危機にあり緊急の食糧支援を必要としている。約13万人の5歳未満児が急性栄養不良に陥っている。

他のカリブ海諸国同様、ハイチは、もしラニーニャ現象が起きれば、より活発なハリケーンシーズンという潜在的脅威に直面する。

18



エルサルバドル



70万人

影響を受けている人々

70万人が干ばつの影響を受け、うち17万人が食糧危機にあると考えられる。

19



グアテマラ



91万5,000人

食糧危機にある人々

推定91万5,000人が食糧危機にあり、一部の地域では、重度の急性栄養不良率が8%に上ると報告されている。